

令和4年度第4回八千代市庁舎整備検討委員会 会議録（要点録）

日時：令和4年12月22日（木）

13時7分～14時15分

場所：上下水道局庁舎2階会議室

1. 開会

- ・ 委員数の2/3以上の出席により、本会議は成立している。
- ・ 本日は委員の他に、母子保健課長及び八千代市新庁舎等建設基本設計業務委託事業者の株式会社類設計室に同席いただいている。

2. 議題

(1) 庁舎整備検討部会での検討結果について（報告）

①事務局より説明

令和4年12月9日に開催した庁舎整備検討部会での検討結果について事務局より報告。

②意見・質疑応答

Q. 母子保健課と健康づくり課が同じ建物内がないことにより市民の利便性に問題が生じないか。

A. 健康づくり課は成人、母子保健課は子どもと対象範囲が分かれているため、問題は生じないと考えている。

Q. 母子保健課を新庁舎に配置した場合、教育委員会の各課を除けば、健康づくり課だけが本庁に集約されていない状態となるが、そのことに対する認識はどうか。

A. 健康づくり課にもヒアリングをしたが、専属の検診スペースが近くに欲しいが、新庁舎では確保できないため、新庁舎外で業務を行いたいとの意向であった。

Q. 母子保健課も検診を行うので、子ども家庭庁に関連する部分とその他の部分で課を分けて、その他の部分は健康づくり課と同じ建物とするのはどうか。

A. 機構改革の際に課の分割も議論されると思うが、新庁舎では現在の課の規模でスペースを確保する。

Q. 本日の図面では母子保健課が新庁舎に入れるスペースを確保したが、母子保健課全体が本庁に入るとは限らないとの認識でよいか。

A. そのとおり。

Q. 3階の災害対策本部は平常時にどう活用していくのか。

A. 大会議室として活用する。また、スライディングウォールで3つに分割して小会議室とできるように考えている。

Q. 災害対策本部の部屋の大きさは何か根拠があって設定したのか。

A. 現庁舎で一番広い会議室は第1・2会議室であるが、会議の際に狭いとの意見もあるため、災害対策本部は第1・2会議室よりも大きくした。

- Q. 災害対策本部としての大きさから部屋の大きさを決めたわけではないのか。
A. 災害対策本部の大きさについては、危機管理課とも協議済みであり、了承を得ている。

(2) 新庁舎基本設計（素案）について

①事務局より説明

基本設計書概要版（素案）について、株式会社類設計室より説明。

②意見・質疑応答

Q. 議場について、車いすを使用している議員への対応はどうするのか。

A. 議場の段差にはスロープを設置する計画としている。

Q. 災害時にライフラインが途絶した場合、トイレはどの程度使用できるのか。

A. BCPに基づいて新庁舎で災害対応を行う職員数を計算し、1週間は対応可能な計画としている。

市庁舎は避難場所ではないため、市民が利用する想定はしていない。

(3) 新庁舎建設事業 概算事業費について（報告）

①事務局より説明

概算事業費の積算結果について、事務局より説明。

②意見・質疑応答

特になし。

(4) 新庁舎建設工事の事業者選定手法について（報告）

①事務局より説明

新庁舎建設工事の事業者選定手法について、メリット・デメリットを交えて事務局より報告。

②意見・質疑応答

Q. 次回の会議はいつ開催予定か。それまでに契約課との調整はできるのか。

A. 次回の会議は令和5年1月16日に予定しており、それまでに調整は可能と考えている。

3. 総括

- ・議題の報告，説明のとおり進めることとする。

4. 閉会